

中部方面混成団創立6周年 大津駐屯地創設54周年記念行事盛大に終わる

中部方面混成団及び大津駐屯地（団長兼駐屯地司令 武政賢一 一佐）は、大津市長、国会議員をはじめ、各自治体・協力団体、駐屯地近傍部内外から多数の来賓の出席を得て、団創立6周年・駐屯地創設54周年記念行事を盛大に挙行了した。

今年の記念行事は、悪天候の中挙行されたが、例年同様大勢の来場者で賑わった。

観閲式は、中部方面混成団副団長（田邊一 佐）を観閲部隊指揮官として、団隷下部隊第四十七普通科連隊、第四陸曹教育隊、第一〇九教育大隊及び第一〇教育大隊（と中部方面音楽隊（伊丹）が参列した。

観閲行進では、中部方面音楽隊が演奏する中、第一〇九教育大隊の新入隊員（一般陸曹候補生・自衛官候補生）、第四陸曹教育隊に入校中の陸曹候補生・上級陸曹学生、第四十七普通科連隊に加え、第三戦車大隊、第三高射特科大隊、第三施設大隊、第三偵察隊、第八高射特科群及び第三特殊武器防護隊の隊員、車両が多数の来場者の前を威風堂々と行進し、大きな拍手を浴びた。

式典後は、中部方面音楽隊の演奏、新入隊員による自衛隊体操、第四十七普通科連隊と支援部隊による迫力ある模擬戦が行われ、見学者を圧倒・魅了した。

その後は、第三戦車大隊による記念行事始まって以来、初の戦車試乗、第四施設団による琵琶湖での体験乗船、高機動車の体験試乗、各装備品の展示、祝賀会食が催され、来隊した方々に、中部方面混成団及び大津駐屯地に対する一層の理解を得ることができた。



観閲部隊の敬礼を受ける武政団長



観閲部隊指揮官田邊副団長



編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

TEL077-523-0034

記念行事の様子



記念行事初の戦車試乗



祝辞を述べる大津市長



新入隊員全員での自衛隊体操



威風堂々と行進する隊員



雨の中の体験乗船



戦車と同時突入する普通科隊員

栄えある団長・司令感謝状贈呈

団長感謝状受賞者

- | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---------|-----------------------------|-----------------------------|---|---------|---|---------|---|--|
| 第四陸曹教育隊
友の会理事
間宮 茂樹 様 | 山本 進一 様 | 第一〇九教育大隊
教友会会員
山川 孝 様 | 第四陸曹教育隊
友の会会長
三原 靖夫 様 | 中部方面混成団
友の会理事
第一〇九教育大隊
教友会会員
丸岡 豊 様 | 上西 康夫 様 | 中部方面混成団
友の会理事
第一〇九教育大隊
教友会会員
九岡 豊 様 | 堀田 武司 様 | 中部方面混成団
友の会理事
第一〇九教育大隊
友の会副会長
鷺見 昭二 様 | 中部方面混成団
友の会理事
第一〇九教育大隊
友の会副会長 |
|-----------------------------|---------|-----------------------------|-----------------------------|---|---------|---|---------|---|--|

司令感謝状受賞（団体）

- | | | | | |
|-----------------------|--------------|--------------------------|---------------------|----------------|
| 株式会社
大津駐屯地業務隊OB会 様 | 株式会社
石定 様 | 大津駐屯地業務隊OB会 会員
寺田 孝 様 | 大津自衛隊協力会
山下 英利 様 | 大津自衛隊協力会
会長 |
|-----------------------|--------------|--------------------------|---------------------|----------------|

司令感謝状受賞者

新隊員の成長



前方の状況を確認する隊員



着隊し入隊式で誓いの言葉を述べる隊員



最後の力を振り絞り気迫で前進する隊員



銃を使って基本動作をする隊員



一般陸曹候補生課程 自衛官候補生課程

入隊時

国防という熱い思いと夢と希望を胸に入隊し、これから新しい生活がスタートする。憧れの制服にも袖を通し、入隊式を迎え宣誓をした。

4月 (環境順応期)

団体生活に少しは慣れ、本格的に訓練も始まり慌ただしい毎日が過ぎていく。基本教練で銃の重さを痛感していた。

5月 (練成期)

歩哨訓練で、新隊員達は自信に満ちあふれた顔で訓練に臨み、日に日に自衛官らしい姿になっていく彼らが頼もしく感じられた。

6月 (完成期)

戦闘訓練練度判定で集中力を切らせることなく臨み、全員が士気旺盛・勇猛果敢に行動し、練度判定合格の成果を収めた。また、入隊時に比べ彼らの姿は自衛官らしくなっていた。

第1期生徒陸曹候補生課程



駐屯地全員での見送り



酷暑の中戦闘訓練をする隊員



任命式及び入校式



滌刺と若さ溢れる姿で敬礼する隊員

生徒陸曹候補生とは、中学校卒業後、陸上自衛隊高等工科学校(神奈川県)において三年間の教育を修了し、陸曹候補生を命じられた隊員である。その隊員四十一名に対し、第四陸曹教育隊では、四月一日任命式、四月四日入校式を実施し、陸曹としての資質を養い、初級陸曹として必要な基礎的な知識及び技能の修得を目的とした課程教育が開始された。陸上自衛官としての第一歩を踏み出した学生は、第一期生として、今後の伝統を創るという自負心を持って教育に臨み、総合訓練では全員が強い意志で一致団結・勇猛果敢に行動し任務を完遂した。また、六月二十六日、卒業式修了後においては、駐屯地全隊員の見送りを受けた、その姿は「俺を見よ」と言わんばかりの気概を感じさせる堂々たる行進であり、今後、部隊等における若きリーダーとして「俺に続け」を実践する自信をも感じさせられた。

初めての生徒陸曹候補生課程の教育

新副隊長 紹介

平成二十五年三月二十三日付で、中部方面混成団副隊長に田邊政文一佐が、同年四月一日付で、第四陸曹教育隊長に谷俊彦一佐がそれぞれ着任した。

中部方面混成団副隊長 田邊 政文 一佐



プロフィール

生年月日 昭和三十三年八月二十一日
出身地 福井県
主要経歴
第六普通科連隊
防衛大学校
第三十六普通科連隊
富士学校
富士教導団本部
陸上幕僚監部防衛部研究課
陸上自衛隊幹部学校
東北方面総監部人事部
研究本部 総合研究部
第二師団司令部 第四部長
第二十八普通科連隊長兼て駐屯地司令
豊川駐屯地業務隊長
第四十九普通科連隊長

（美）横須賀
（伊）丹
（富）士
（富）士
（富）士
（目）黒
（仙）台
（朝）霞
（旭）川
（函）館
（豊）川

第四陸曹教育隊長 谷 俊彦 一佐

プロフィール

生年月日 昭和三十四年二月十二日
出身地 福岡県
趣味 テニス、読書
隊長要望事項 「戦士たれ」 「戦士の育成」
主要経歴

第十九普通科連隊第一中隊小銃小隊長（福岡）
第二十六普通科連隊対戦車中隊長（福岡）
第二師団司令部第三部訓練班長（旭川）
統合幕僚会議事務局第五幕僚室（檜町）
中部方面総監部防衛部防衛課総括班長（伊丹）
西部方面総監部防衛部陸上連絡官（健軍）
補給統制本部総務部人事課長（十條）
第三十普通科連隊長兼新発田駐屯地司令（新発田）

鈴木一佐勇退



勇退された鈴木1佐

鈴木精治一佐は、平成二十五年四月一日付で、第四陸曹教育隊長の職を最後に勇退された。
鈴木前隊長は、平成二十三年四月に着任以来、「共に学ぶ」を統率方針として、自ら積極的に教育現場へ足を運び、学生の真剣に教育に臨んでいる姿や起居行動を肌で感じながら二年の勤務期間、自らも自衛隊生活で得た経験・知識等を基幹隊員・学生に伝承し、後継者の育成を実践された。
退官後は、静岡県牧ノ原市の防災監として活躍される。

退官

第一〇教育大隊

准陸尉 疋田 久永
（五月六日付）

三等陸佐 森本 治由
（六月十八日付）

疋田准尉は、平成二十五年五月六日付で三十五年二ヶ月の自衛隊勤務を全うされ定年退官された。
森本三佐は、平成二十五年六月十八日付で三十五年三ヶ月の自衛隊勤務を全うされ定年退官された。

第47普通科連隊



岸本曹長は、平成二十五年四月十八日付で約三十一年の長い自衛隊勤務を終え、前三尉は、平成二十五年六月十四日付で約三十四年の長い自衛隊勤務を全うされ定年退官された。

固い握手と最後の挨拶

功績の紹介と最後の固い握手



善通寺駐屯地の全隊員に見送られた森本3佐（右）と疋田准尉（左）

第四十七普通科連隊

生活体験支援

第四十七普通科連隊(連隊長 浦隆一佐)は五月二十日(月)〜五月二十二日(水)の間、第三中隊長 松本一尉を担任官とし、企業五社、の新人社員五十五名に対する隊内生活体験を支援した。

当初、参加者は、「自衛隊は厳しい」と言うイメージからくる不安と制約された分刻みの行動に対して戸惑いを感じていたようだが、担当教官や各班長等の情熱ある教育・指導が信頼感と積極性を生み、基本教練、十キロ行進訓練、コンパス行進及び格闘訓練等、積極かつ真摯に取り組み、自衛隊への理解と認識を深めた。

生活体験を終えた新入社員は「一人では何もできず、団結・規律の重要性を感じた。」「声を掛け合って協力すれば、効率が良くなり事故を防げる。」「この三日間で自衛隊でしかできない経験をする事ができ、人生のとても大切なことを学んだ」等、引き締まった表情で語った。

第一〜三次招集訓練

平成二十五年度の訓練開始から三ヶ月が過ぎ、この間、即応予備自衛官招集訓練は、体力検定、格闘検定、小火器射撃、各個戦術訓練等の訓練を行なった。今年度の新規採用者四十六名の即応予備自衛官が、常備自衛官と共に元気に招集訓練に励んでいる。

また、三月に転入してきた常備自衛官十二名についても当初、即応予備自衛官の招集訓練に対し戸惑いがあった様子であったが、中隊の一員となり、現在では部隊にも打ち解け各種訓練を積極的に行ない、連隊の新戦力として活躍中である。

連隊は、今年度最大の目標の一つである連隊総合訓練に向けて常備・即自が一丸となって共に練磨し、部隊能力の向上を図る。



離隊時に、教官の宇坪二尉から「最初君たちは、十キロ行進を不安だっただけでもきつと歩ける。社会人として最大級のピンチがこの先訪れてもきつと克服できるから大丈夫だ。」と激励を受けた教官・助教に見送られながら晴々とした笑顔で駐屯地を後にした。



10Km 行進



常に駆け足で移動



防御訓練 (第1中隊)



第一線連隊収容所訓練



基本教練

第四陸曹教育隊

青野ヶ原演習場での防御訓練

第四陸曹教育隊(隊長 谷俊彦一佐)は、第一期生徒陸曹候補生課程の防御訓練を、平成二十五年五月十四日から十七日までの間、青野ヶ原演習場において実施した。

学生四十一名は当初、各種障害構成や各個掩体構築、次いで防御準備から防衛戦闘までの一連の防御行動の教育を受けた。夏を思わせる酷暑の中、区隊長 牧准尉、足利曹長による生徒の特質を踏まえた分かり易い教育と、各助教による陸曹候補生課程での豊富な教育経験を活かした指導により、初期の目標を達成した。



上空警戒をしつつ掩体を構築



前方警戒中の学生



防御命令を聞く学生達



第一〇九教育大隊

「比叡山延暦寺史跡研修」

第一〇九教育大隊（大隊長 猪股倫夫二佐）は、新入隊員の精神教育の一環として四月二十三日、三十日、五月一日、世界文化遺産である比叡山延暦寺を訪れ、史跡研修を行った。

参加した新入隊員たちは、一二〇〇年に及ぶ比叡山延暦寺の歴史と伝統にふれ、新鮮な空気の変化を感じるとともに、広大な敷地圧倒されていた。

また、正座で説法を聞き、その中で特に「一隅を照らす」という教えに関心を持ち、自衛官として保持すべき道徳心であると感じた者が大半であった。また一般には立ち入れない場所に立ち入る事ができ、貴重な体験もすることが出来た。

第二〇九教育大隊友の会から激励

第三二五共通教育中隊一般陸曹候補生一七名が、あいは野演習場において野営訓練を実施した。五月二十二日、徒步行進能力向上を図る目的で二五キロ行進訓練を実施中、第一〇九教育大隊友の会会長伊藤公祥様による激励を受けた。

伊藤会長は新入隊員一人一人に届くように「がんばれよ！」と声を掛けられた。

伊藤会長からの温かい激励を受けた新入隊員たちは、元気な声で挨拶をかわし、しっかりとした足取りで行進を続け、全員が完歩することができた。また、伊藤会長より激励品を戴き、元気を取り戻した新入隊員たちは、野営訓練を乗り越えようと頑張っていた。



正座で説法を聞く隊員



新隊員を激励する109友の会会長伊藤氏

第一一〇教育大隊

「新隊員教育の様子」

武器訓練

第一一〇教育大隊（玉木章二二佐）は、武器訓練練度判定を実施した。練度判定に至るまでの約二週間、初めて取り扱う六四式小銃の性能・諸元から教育を実施し、分解及び結合についても段階的に教育・展示・併せて実習をさせることにより理解度を高めた。六四式小銃は、非常に精密で部品数も多く、分解が困難な部品については何度も強調し、特に喚呼動作を確行させて実施させる事により、正確・確実な動作を身に付けさせることが出来た。課目教育の中間時にさしかかると、各人の練度の差が見え始め、高練度者には反復演練を実施させ更なる練度向上に努め、低練度者には、マンツーマンで指導できる態勢を構築、課業内外を問わず零細時間を活用して、練度向上に努め、練度の差を縮めることができた。



緊張の面持ちで練度判定を受ける隊員



練度判定は、全隊員が合格基準である分解六分、結合九分以内に到達することができ、全員合格の成果を収めた。

善通寺駐屯地創立記念行事参加



中隊長以下勇敢な姿で行進

第一一〇教育大隊は、四月二十一日、善通寺駐屯地で開催された第十四旅団創隊七周年・善通寺駐屯地開設六十三周年記念行事に、大隊長以下人員約四〇〇名（第六期一般陸曹候補生及び自衛官候補生を含む）、車両七両が参加し観閲式及び観閲行進において、澁刺とした真姿を来賓並びに多くの来場者に披露した。特に、新入隊員は、入隊後僅か三週間という状況の中での参加となったが、全員が心一つにし、緊張の中、観閲式終了まで威風堂々とした動作を行っていた。行事には、中部方面混成団副団長が来賓として参加し激励した。

隊員・家族投稿

第四十七普通科連隊 第一中隊

ぼくのお父さん

中西 純大

ぼくのお父さんは、家族のためにいつも仕事をがんばってくれます。

きゅうりようが入ったら、いつも何か買ってきてくれるし、おこるときは、ちゃんとおこつてくれます。

お父さんは、夜ひまだつたら、いつも話をしてくれます。

お父さんは、いつもあそこに行きたいと言ったら、いつもつれていってくれます。

ぼくは、こんなお父さんになりたいとおもいました。

ぼくのお父さんは、じまんできるお父さんです。



善通寺駐屯地で記念撮影



小学校で百人一首大会 2年生の部 金賞受賞

「曹友連合会代表評議会に参加して」

第四陸曹教育隊本部

三等陸曹 松田 光代



成果発表をする松田3曹

私は、曹友連合会行事の一つである、平成二十四年度JSS顕彰(ジャパン・サージャント・サリュート)を受賞することができ、その副賞として座間キャンプと沖繩米海兵隊の研修をすることができると同時に成果を発表する大任を命ぜられました。成果の発表は、平成二十五年四月二十七日市ヶ谷駐屯地において曹友連合会が主催した第三十八回代表評議会の一つの項目として、陸幕人事補任課長 梶原一佐を始め、曹友連合会長、各方面隊曹友会長等が参加する中、実施しました。私は、大津駐屯地曹友会長等のアドバイスを参考に、JSS顕彰受賞者に恥じないよう、若々しく澁瀬と、そして熱意ある発表に心掛け、無事大任を果たすことができました。私は今後、今回の研修及び成果発表での教訓をJSS顕彰の趣旨である若年曹友会員の育成に活かしたいと思えます。

第一〇九教育大隊本部

三村 良明 曹長

ともよ夫人

「大家族」

我家は大家族。長女をはじめ、息子三人、そして愛犬2匹にうさぎ、カメ、ハムスターなどなど..... 三人の悪ガキ共に振り回され、爆笑しながら毎日バタバタと過ぎていく中、去年十二月に第五子である次女が産まれました。次女のおかげで今までの爆笑も治まりつつ、癒されながら育児を楽しんでいます。

主人は大津駐屯地へ単身赴任中で、現在四年目になります。一日一日と変化のある時期で、すくすくと成長していく次女の姿を毎日見ることが出来ず残念ですが、帰ってくるたび変化を楽しみ、癒されているようです。子育ては本当に大変ですが、少しずつ成長していく子供達の姿を見るのは、とても嬉しい事です。この子供達がどんな大人になるのか、どんな未来が待っているのかと楽しみにしつつ、毎日私達は頑張っています。



仲よし5人兄弟

「喜び」

第一一〇教育大隊

第三三二共通教育中隊

三等陸曹 藤川 昌也

今年の三月に第十五普通科連隊から異動になり約二ヶ月、初めての新しい班長として、悪戦苦闘しながらも毎日充実した日々を過ごしております。

私生活においても、三歳になる娘が一人おり、毎日愛くるしい笑顔に元気付けられております。しかし、現在は新隊員教育ということもあり、帰宅時間が遅くなることが多く、娘の相手をしてあげることが出来ていません。その為、休日等は、出来る限り、家族との時間を作り、娘と触れ合うことにしております。その中で、日々成長していく我が子の姿に喜びを感じ、それを活力として訓練に取り組んでおります。また、同じように職場でも班員の日々の成長に喜びと期待を感じ、これからの教育期間を全力で頑張りたいと思えます。



藤川3曹の長女アンパンマンを持ってニッコリ